

関西電力株式会社社長  
石川 博志 様

## スリーマイル島原発事故22年に当たっての申し入れ

若狭連帯行動ネットワーク

米スリーマイル島原発2号炉で炉心溶融事故が起こって、本日で22年になります。蒸気発生器に2次冷却水を送り込む給水ポンプが故障するというささいな事故から、炉心の大半がメルトダウンするという事態に発展し、大気中に多量の放射能を放出するにまで至りました。この事故は、原発のもっている抜きがたい不可避的な危険を明確に示しました。

その後1ヶ月の間に、ハノーバー（10万人）サンフランシスコ（2万5000人）ストックホルム（1万5000人）ハンブルグ（1万人）シドニー（3万5000人）エジンバラ（1万人）スペイン・ビルバオ（10万人）などの反原発の大行動をはじめ、数百～数千人単位の行動が世界中で取り込まれました。日本でも各地で電力各社への反対行動が起こりました。関西電力へ原発停止を要求するデモ行進など様々な行動が展開されました。

スウェーデンではついに1980年国民投票が行われ、原発新增設を中止し、既設炉を段階的に廃止していくことが決定されたのです。

原発廃棄への運動は1986年のチェルノブイリ原発事故後さらに強まり、現在の欧米のエネルギー政策は、プルトニウム利用中止、原発縮小・廃棄路線へと生まれ変わってきています。さらにCO<sub>2</sub>排出大幅削減まで見込んだエネルギー政策が主流になりつつあります。

貴社はこのような中で22年にも渡って、世界や関西での反原発の声を無視し傲慢な態度を取り続け、世界の中では「化石」のような存在にまでなっていました。1991年の美浜2号でのSG細管ギロチン破断事故を引き起こしたのちもそのわがままな態度は現在も一向に改まっていません。貴社に染み付いたこの姿勢に、関西や福井・若狭の何百万、いや何千万もの住民は事あるごとに強い憤りを感じてきました。

現在では、高浜原発で危険で全く見通しのないプルサーマル発電を行うことに固執し、日本原電敦賀3・4号増設へ向けあからさまな加担を行っています。また、使用済燃料の中間貯蔵施設立地を狙っています。また、珠洲原発立地点の買収策動などにも手を染めてきました。プルサーマル用MOX燃料に関しては英BNFL社による燃料ペレットのデータねつ造を見抜けず、1997年福井県武生市での公開討論会ではスイス・ベズナウ原発でMOX燃料棒事故があったことをわざと隠して説明しました。

スリーマイル島原発事故後、風下で新生児死亡が増えるというショッキングな被害が出ました。また、現在では放出放射能による被害をめぐる周辺住民が裁判闘争を行っています。

貴社の原発がSG細管やポンプの事故など、炉心から離れた機器の故障から炉心溶融にまで発展する事態がいつ起きても不思議はありません。電力自由化で原発の経済性を追求するために長期連続運転や定期検査の削減・短縮、熱出力規制の引き上げなどが追求されており、重大事故の危険はかつてなく高まっています。放出放射能が近畿、関西を襲えば何十万人ものガン・白血病死が実際に引き起こされることは、何十年ものあいだ様々な市民団体や反原発・反核団体が指摘してきたことです。そのようなリスクを敢えて背負おうとする貴社の姿勢に怒りを感じない国民はいまや一人としていないでしょう。現在、原発建設は「公共工事」と的確に揶揄されるようになりました。原発は国民から総スカンを食う存在に陥ったのです。

放射性物質は、いったん漏れれば、生命体を構成する原子をその強烈なエネルギーでイオン化し、DNAやタンパク質などを壊してしまいます。このような危険なものをもてあそび、暴利をむさぼるなど即刻止めるべきです。これまでの何十年にも渡る無責任な姿勢を改めるべきです。ここに以下の点を要求します。すぐに実施されることを強く望みます。

プルサーマル計画を中止し、BNFLとの契約を破棄し、今後同社と新たな契約を一切結ばないこと。  
MOX燃料の高浜原発から英国への返還計画を中止すること。

ベズナウ原発においてMOX燃料棒事故があったことを、武生市での公開討論会でわざと隠して説明しなかったことを福井県民に謝罪するため、謝罪広告を、福井県下の新聞各紙に掲載すること。

使用済核燃料の中間貯蔵施設をどこにも立地しないこと。

日本原電敦賀3・4号増設に加担しないこと。珠洲から撤退すること。

美浜1号を即刻廃炉にすること。

重大事故の危険があり、危険な使用済核燃料を生み出す貴社の原発全てを停止すること。とくに、阪神・淡路大震災や鳥取県西部地震に続く芸予地震を教訓とし、直下地震に耐えられない貴社の全原発を即刻停止すること。

青森県六ヶ所に使用済燃料を持ち込まないこと。使用済燃料の再処理をしないこと。

小学校への原発宣伝冊子やビデオの供給を中止すること。